

チュートリアル課題 今からですか?すぐですか?本当ですか?

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東京女子医科大学 公開日: 2024-06-25 キーワード (Ja): 妊娠高血圧症候群, 常位胎盤早期剥離, 播種性血管内凝固症候群, 未受診妊婦, 胎児発育不全, 胎児機能不全, 羊水過少, 新生児, NICU, 新生児仮死, 呼吸窮迫症候群, 未熟児動脈管開存症, 高ビリルビン血症 キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/0002000182

2019年度 Segment. 7

課 題 No.3

課題名：今からですか？すぐですか？本当ですか？

課題作成者： 母子総合医療センター
母子総合医療センター

水主川 純
大野 秀子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

<課題番号> 2019-S7-T1-3

ver. 1.0

平成31年03月29日 現在

<課題名> 今からですか？すぐですか？本当ですか？

<課題作成担当教室(責任者)> 母子総合医療センター:小川正樹

<課題作成者>	母子総合医療センター	水主川 純	28204
	母子総合医療センター	大野 秀子	29661

<中心テーマ> 妊娠高血圧症候群

<課題の目的>

妊娠高血圧症候群は産科領域における代表的疾患の一つであり、全妊婦の約4%に発症する。本疾患は母児の状態を悪化させる常位胎盤早期剥離や脳出血などを合併することがあり、病態の理解および適切な対処法について理解することは重要である。症例を通し、本疾患の理解を深めることを目的とする。

また、新生児の出生後の適応生理を理解し、早産で出生した児の生理的変化、起こりうる合併症などを学習する。課題を通して新生児期が母子関係確立に重要なことに気づく。

<キーワード>

妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離、播種性血管内凝固症候群、未受診妊婦、胎児発育不全、胎児機能不全、羊水過少、新生児、NICU、新生児仮死、呼吸窮迫症候群、未熟児動脈管開存症、高ビリルビン血症

<課題シート> 6枚 (資料: 18枚)

シート1

美穂さんは、大きなプロジェクトを抱えており、妊娠発覚後も仕事を継続し、夜遅くまで残業を行うことがしばしばあった。最近、手のむくみが気になり、夫からも顔がむくんでいるといわれていたが、仕事の都合がつかず妊婦健診は妊娠26週が最後であった。夫に病院受診を勧められたため、妊娠31週で来院した。

シート2

以下省略

医師 「血圧が高いですね。尿蛋白も陽性だし、すぐ入院ですね。」

美穂さん 「えっ、まだ、妊娠31週なのに入院ですか？しかも今日すぐに入院ですか？」

<資料・教材リスト>

以下省略

資料1: 症例

資料2: pitting edema

資料3: 胎児超音波検査

資料4: 血液検査データ

資料5: CTG検査

資料6: 資料: 一過性徐脈パターン

資料7: 経産男児在胎期間別出生時体重標準値、出生時身長標準値

資料8: アプガースコア表

資料9: 新生児の蘇生アルゴリズム

資料10: NICUの風景、保育器内の赤ちゃん

資料11: 出生時の胸部X線写真

資料12: マイクロバブルテスト

資料13: 血液データ: 入院時の血液ガス、血算、生化学

資料14: 血液データ: 生後3時間

資料15: 青い光の写真、血液データ、身体所見

資料16: 光線療法治療基準表

資料17: 神経学的予後 1

資料18: 神経学的予後 2

<到達目標>

A) 少なくともこれだけは

1. 妊娠高血圧症候群の疫学、病態、症状、管理について説明できる。
2. 妊娠高血圧症候群に伴う合併症（子癇、常位胎盤早期剥離、HELLP症候群）を挙げることができる。
3. 妊婦健診の適切な受診間隔につき述べることができる。
4. 胎児心拍数陣痛図を判読できる。
5. 新生児の出生時の状態の評価ができる。
6. 在胎期間と出生体重による新生児の分類と定義について説明できる。
7. 出生後の呼吸・循環器系の適応生理を理解できる。

B) できればここまで

1. 胎児発育不全の原因を挙げることができる。
2. 産科播種性血管内凝固症候群につき説明できる。
3. 新生児の血液生化学データの特徴を述べることができる。
4. 早産児の特徴を述べることができる。
5. 呼吸窮迫症候群について理解できる。
6. 未熟児動脈管開存症について理解できる。
7. 新生児の黄疸を理解し、その鑑別ができる。
8. 早産児の発達について理解できる。

C) もし余裕があれば

1. 妊娠高血圧症候群における血液検査所見につき説明できる。
2. 妊娠中の浮腫の原因を挙げることができる。
3. 緊急入院となった際の妊婦の心情について理解する。
4. 新生児の出生時蘇生について理解できる。
5. 早産児を持った親の育児・成長発達に対する不安について理解する。

<課題関連事項の学習状況>